

# バス親睦旅行 海外旅行に出かけた気分を満喫 太陽公園 (姫路市) 6月25日(火)

曇り空のもと、雨が降らないことを願いながら、参加者31人がバスに乗り、水無瀬駅前ロータリーを出発。姫路市の太陽公園へ。



パリの凱旋門 みなさんバッチリ海外旅行気分です！

## 最初に石のエリアへ

まず、パリの「凱旋門」が目に入る。続いて現れるのはイースター島の「モアイ像」。「兵馬備博物館」には、迫力ある人型の置き物が千体も展示されていました。これら

は、世界の石の文化や建築物を見ながらの見応えのある散策でした。

## 次に城のエリアへ

モノレールで山頂にあるドイツのノイシュバンシュタイン城をモチーフとした「白鳥城」

を見学。城内は「トリックアート」他、部屋がいろいろあり、ずいぶん楽しむことが出来ました。(松井 重子)



モアイ像の前を散策！



赤レンガ造りのロマンチックな白鳥城の前で

## 百年に一度の開花!?

ヤマサ蒲鉾の工場見学は、当日あいにく休みのためにお買い物。(しばし主婦の顔に戻って夕食の調達)その後、「蓮の花苑」見学。

心地よい夢前川の川風を受けながら徒歩五分、目の前に広大な蓮池が広がっていました。古代蓮(大賀蓮) 蜀紅蓮、城陽蓮など様々な蓮が咲いています。

まだ四分咲きでしたが、本当に自然が生み出す色彩の美しさに目を奪われました。中に一輪、何と一本の茎に二つの花が。「双蓮頭」の名がついて、百年に一度しか咲かないと説明されました。幸運なことに、明日には散ってしまうとのことで、出会えた人は幸せになれると言われて嬉しくなりました。

ちなみに、百年に一度のはずが、実は去年も咲いていたというオチはありましたが、目の保養にさせて頂いた一日でした。(中村 恵美子)



美味しい蒲鉾の試食



見渡す限りの広大な蓮池に咲く美しいハスの花

## 放課後見守り

### 新入部員の取材記

月2回、月曜日午後2時半からの見守り活動には毎回4、5名が参加。子どもたちの安全を願う地域の想いと関心が防犯にもつながるのだ、と実感できました。元気な子どもたちの歩く速度はかなりのものです。まだまだ若いと自負している方々にもっと参加していただければと思います。(生田 勝義)



子どもたちに伝える地域の願い！

## 校長・自治会長との交流会 5月18日(土)

地域での福祉活動を充実していくため、第一地区内の各自治会と第一小学校との交流会を開催しました。毎年行っている各種の福祉事業において、自治会や小学校での協力方法や変更・改善などについて意見交換を行いました。

少子高齢化が進む状況で地域の住民が安心して生活できるように、助け合い・支え合うことがますます重要になってきています。

地域内でのつながりや連携を一層深めていくためにも、今後も引き続いての相互の協力を確認しました。(長澤 芳美)



活発な意見交換

## 町内一斉清掃 7月7日(日)



一小体育館横に集合した皆さん

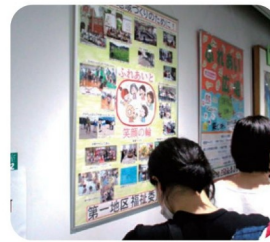
## 社協まつり

### バザー・活動紹介パネルづくり 9月8日(日)

第一地区福祉委員会は、主としてバザー「什器」部門を担当。また当会の「活動紹介パネル」を作成・展示しました。バザーは開始直後から、入場待ちの行列ができるほどの盛況ぶりでした。



大盛況なバザー風景



福祉活動紹介パネル

## 配食サービス

9時過ぎには11名のボランティアによる調理開始。時折、「人参、ごぼうは細かくね〜」明るい声が聞こえてきます。10時頃には大きな釜から立ち上がる湯気とグツグツ煮える音に思わず「美味しそう！」食欲をそそる一場面です。

11時前には盛り付けに入り、錦糸卵、いんげん、うま味の効いた椎茸を飾り華やかな散らし寿司の出来上がり。(井上 美知子)



テキパキと盛り付け・包装！



色鮮やかで美味しそう！

## 編集後記

変わらないものを大事にし、新しい変化を取り入れることを「不易流行」といいますが、1946年公布された日本国憲法はいまだ不易であり、9か年の義務教育制度は定着し、高等教育は当たり前となりました。

一方、教育内容は戦前と大きく変化し、憲法14条による法の下にすべて平等で差別されない、多様性と共生を目指した教育実践です。

最近では、母の日や父の日を同日にお祝いし、「身近な人に感謝を伝える日」としたり、幼児・児童生徒を「さん」づけで呼びあい、男女を区別せず女性やひとり親家庭、性的少数者たちの人権を守る取り組みをしている学校・園があると聞きます。「不易」は大切にしながら、変化にも適応し、みんなが幸せになる活動を続けていきたいものです。(篠原 皓)